

平成 11 年度 (1999 年度) 事業報告

I 事業状況

1999 年度の日本経済はやや明るさを取り戻したものの依然として厳しい状況が続きました。このような状況の下で当年度の協議会活動は、経費の節減と各事業内容の見直しをはかりつつ、ほぼ当初の計画どおりに推進しました。

なお、2000 年 2 月は設立 10 周年にあたることから、記念事業の一部を年度内に実施しました。

1. 啓発・普及事業 (9, 715 千円)

1.1 セミナー、シンポジウム (3, 519 千円)

本年度は小規模形式のセミナーを中止し、秋に 10 周年記念プレ・イベントとして、仏大使館、国際交流基金、(財)地域創造等の協力をえて日仏アートマネジメント・フォーラムを次のとおり開催しました。

○タイトル 「アートで地域を発想する」

○日時 1999 年 10 月 3 日(日) 14 時～18 時

○会場 東京・世田谷パブリックシアター

○内容

①「フランスにおける地域社会とアートの新たな関係」

コーディネーター／小林康夫氏(東京大学教養学部教授)

コメンテーター／吉本光宏氏(ニッセイ基礎研究所主任研究員)

報告者／ミッシェル・オリエ氏(アミアン市文化会館ディレクター)

カロリーヌ・ソンリエ氏 (イル・ド・フランス オペラバレエ協会代表)

フランシス・ラクロッシュ氏 (預金信託金庫・文化事業統括部長)

②「地域の時代のアートサポート」

パネリスト／フランシス・ラクロッシュ氏 (預金信託金庫・文化事業統括部長)

本間正明氏(大阪大学副学長)

永井多恵子氏 (世田谷文化生活情報センター館長)

堤 清二・協議会会長 コーディネーター／根本・協議会専務理事

1.2 全国メセナ組織との交流(268 千円)

1998 年 9 月に発足した全国メセナネットワーク (加盟 16 団体) の第 1 回全体会議が 1999 年 7 月 29 日 (木)・30 日(金)、長野県松本市において開催され、加盟団体関係者のほかに各地の自治体および地元関係者など合計 74 名が参加しました。(当協議会から根本専務理事ほか 5 名が参加)

今回は分科会において各組織の抱える諸問題や自治体と民間との協力関係のあり方、地域活性化としてのメセナ活動などをテーマに活発な討議が行われたほか、全体会議では各地の活動事例が紹介されました。

2. 情報集配・仲介事業 (21, 416 千円)

2.1 情報誌の発行 (9, 117 千円)

本年度より従来の『季刊メセナ』を隔月間のニューズレター『メセナ note』に改変し、主に次の内容で1号～6号を発行しました。

※2000年5月現在の発行部数：6000部（うち一般定期購読は700部）

号	解説・解説	トップインタビュー	いまどきのアート	報告
1	創刊の辞 根本専務理事	九州電力(株) 鎌田迪貞社長	秋葉原TV	セミナー報告 アートサポートの公共性
2	セゾンアートプログラム 始動 編集部	福原理事長	沢井比可流	フォーラム 中村 透 おきなわとアート・マネジメント
3	地域メセナのこれから 加藤種男	キリンビール(株) 佐藤安弘社長	エア・ソーラ	フォーラム 米屋尚子 子どもと舞台芸術の現状と未来
4	共同メセナとパートナーシップの収穫 編集部	(株)東急文化村 三浦 守社長	(メセナ大賞'99 受賞事業紹介)	フォーラム 吉本光宏 遠くて近い仏の文化政策
5	1000年後のための明日の 企業メセナ 太下義之	(メセナ白書1999 データ編)	社会を変えるにはアート が変わらなくちゃ	フォーラム 編集部 (研究部会報告)
6	企業メセナの10年と明日の メセナ 伊藤裕夫	米子今井書店 永井伸和社長	足立智美 ハモらな い音楽と「トモミン」	フォーラム 福井恵子 日本人バレエダンサーとローザンヌ

注1) 上記のほかに第2号～6号で野村誠の作曲日記・老人ホーム編を連載

注2) 「インフォメーション」、「企業メセナ情報」、「助成認定活動報告」、「事務局から」を毎号連載

2.2 コンピュータシステムの活用 (2, 451 千円)

最近の社会変化に対応し、次のねらいのもとに事務局の端末機器を拡充しました。

- (1) 協議会ホームページの充実
- (2) インターネットによる「メセナ大賞」の応募受付
- (3) 「メセナ白書」における調査業務での活用
- (4) 会員企業との情報交流
- (5) その他事務作業の合理化

2.3 メセナ・コーディネート事業 (3, 173 千円)

企業メセナ関連の企画、運営業務を受託するコーディネート事業の一環として、当年度も全国7カ所（釧路・青森・滋賀・神戸・島根・岡山・沖縄）での「トヨタ・アートマネジメント講座」の実施に協力しました。

3. 調査研究事業 (16, 911 千円)

3.1 「メセナ白書 1999」の刊行 (11, 897 千円)

当年度の「メセナ白書」は調査部会の協力のもとに 1999 年 10 月 28 日に予定通り発行しました。(発行部数 5000 部)

今回の白書では、1998 年度の企業メセナの実態調査を実施し、長引く不況の下で、企業メセナが着実に根付きつつある状況が明らかになりました。

これに加えて、今回は「アーティストから見た企業メセナ」の調査も実施し、「芸術と企業の 21 世紀のリンケージ」と題する特集記事を掲載しました。

なお、本書の発行にあたっては、「メセナ大賞」受賞企業名とともに 10 月 25 日 (月) に記者発表会を東京・外国特派員記者クラブにおいて実施しました。この発表会にはマスコミ記者 34 名の出席があり、この結果、中央紙の社説をはじめ、“不況下で健闘する企業メセナ”といった内容で約 50 件の報道がありました。

〔1999 年度調査部会〕

岡部修二氏 (トヨタ自動車) ※部会長

市川哲夫氏 (第一生命) 河辺尚之氏 (富士ゼロックス)

酒井 剛氏 (資生堂) 中島康夫氏 (電通)

3.2 研究活動 (352 千円)

企業メセナの現状の諸問題を把握し、今後の展開の方向を探ることをねらいに会員企業関係者による研究部会を当年度より発足させ、協議会設立 10 周年を記念する提言内容の策定に取り組みました。(1999 年 12 月 20 日の理事会において中間報告)

〔1999 年度研究部会〕

加藤種男氏 (アサヒビール) ※部会長

池野谷真知子氏 (日立製作所) 尾崎宣之氏 (ワコール)

島田京子氏 (日産自動車) 福田信義氏 (ソニー)

森 光平氏 (資生堂) 横尾浩輝氏 (安田火災)

4. 顕彰事業 (17, 102 千円)

「メセナ大賞 '99」は応募が 107 社・159 件あり、2 回にわたる審査委員会での審議を経て下記の受賞企業が選定されました。贈呈式は 1999 年 11 月 2 日 (火)、東京・有楽町朝日ホールにおいて関係者約 300 名の出席をえて実施しました。

メセナ大賞 (株)東急文化村

複合文化施設 Bunkamura の運営

- メセナ育成賞 野村證券(株)・松下電器産業(株)・日本航空(株)・トヨタ自動車(株)
 パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)への協賛
- メセナ企画賞 フィリップ モリス(株)
 フィリップ モリス アートアワードの実施
- メセナ国際賞 安田火災海上保険(株)
 ゴッホ美術館新館の建築支援
- メセナ奨励賞 今井書店グループ
 読書と出版文化発展のための支援活動
- メセナ地域賞 住友生命保険(相)
 いずみホールの運営
- メセナ普及賞 カルビー(株)ほか後援会加盟社
 能楽研究・公演団体「橋の会」の支援

[1999 年度審査委員]

- 浅田 彰氏 (京都大学助教授) 池辺晋一郎氏 (作曲家)
 岩淵潤子氏(美術館運営管理研究者) 篠田節子氏 (小説家)
 周防正行氏 (映画監督) 高橋康也氏 (演劇評論家)
 永井多恵子氏(世田谷文化生活情報センター館長)
 堀田 力氏 (さわやか福祉財団理事長) 福原義春・協議会理事長

[1999 年度大賞部会]

- 小玉 武氏 (サントリー) ※部会長 木原徹三氏 (日本経済新聞社)
 土田芳孝氏(朝日新聞社) 中島和枝氏(日本アイ・ビー・エム)
 中井一人氏 (毎日新聞社) 西野正浩氏 (資生堂)
 福川眞樹氏 (朝日広告社) 舟本恵美子氏 (博報堂)
 町田達生氏 (産業経済新聞社) 三上正代氏 (読売新聞社)
 三谷和央氏 (松下電器) 八木忠栄氏 (セゾンコーポレーション)

■応募状況の推移

年度	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
応募企業	160	139	110	132	116	142	151	111	107
応募件数	270	201	145	178	144	182	203	152	159

5. 国際交流事業 (3, 179 千円)

海外メセナ組織との日常の情報交流のほかに、当協議会から次の行事に参加しました。

(1) 仏アドミカル 20 周年記念会議

開催日 1999 年 5 月 5 日 (水)・6 日(木)

場所 オペラ・バスチーユ(パリ)

出席者 福原理事長・根本専務理事

(2) CEREC国際ネットワーク会議

開催日 1999年10月8日(金)・9日(土)

場所 フィレンツェ(イタリア)

参加者 根本専務理事・林事務局次長

(CEREC:欧州諸国のメセナ組織連絡機関)

6. 助成事業 (6,884千円)

当年度は、年間の申請件数172件、認定件数155件で、本制度が広く認知されるようになったことや景気低迷の影響で芸術団体やアーティストの企業への支援要請が増加したことなどにより、いずれも過去最高の件数になりました。

□申請・認定件数推移

年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999
申請件数	103	92	125	121	121	172
認定件数	83	80	109	115	111	155

なお、認定された案件に対する寄付金額は5億15,660千円(前年比116%)で昨年度の落ち込みからやや回復し、小口ながら多数の寄付が行われました。

□助成寄付件数・金額推移

年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999
寄付件数	159	430	661	769	697	752
寄付金額(万円)	19,705	31,102	55,590	86,555	44,281	51,566
1件当たり(万円)	123	72	84	113	64	68

7. 10周年記念関連事業 (4,008千円)

協議会設立10周年を記念して、前述のプレ記念事業、日仏アートマネジメント・フォーラムに加え、次の記念行事を2000年3月29日(水)の通常総会開催日にあわせて実施しました。

(1) 記念講演会

会場 東京・経団連会館 1002号室

講師 仏アドミカル会長 J. リゴー氏

テーマ 「グローバル化と芸術文化」

参加者 会員をはじめ芸術文化関係者 約210名

後援 文化庁

(2) 祝賀パーティ

会場 東京・経団連会館ダイヤモンドルーム

出席者 会員をはじめ芸術文化関係者 約230名

8. その他の活動

8.1 会議関係

○理事会(第28回～第30回)	3回	○通常総会(第19回・第20回)	2回
○理事・評議員合同会議	1回	○幹事会	9回
○調査部会	5回	○大賞部会	7回
○研究部会	9回	○大賞審査会	2回
○助成選考委員会	6回		

8.2 講演会

開催日 1999年6月18日(金)
 会場 東京・経団連会館 1001号室
 講師 前NHK会長 川口幹夫氏
 テーマ 「21世紀の企業と文化」
 参加者 第19回通常総会出席者 約50名

8.3 主な講演・執筆依頼等への対応

区分	依頼元	依頼内容	対応者
企画・運営	仏文化省/ (財)地域創造	地方行政職員研修「仏アートマネジメント講座」(9/28～9/30)	根本専務理事 事務局(熊倉)
出演	さいたま芸術劇場	シンポジウム「劇場芸術の国内的役割と国際的活動」(5/11)	根本専務理事
講義	東京女子大学	「現代ヨーロッパの文化環境」(5/14)	根本専務理事
出演	雑誌「東京人」	てい談「東京ジャーナリズム大台評」(2000年3月号)	根本専務理事
講演	愛知県博物館協会	会員研修会(2/24)	根本専務理事
参画	文化庁	公立文化会館の活性化に関する調査研究協力者会議(9/20～)	根本専務理事
講話	東京西北P-グリ-	協議会の助成事業(5/24)	事務局(林)
出演	山口市	シンポジウム「創造する、まちが元気になる」(5/30)	事務局(熊倉)
出演	山口市	シンポジウム「情報・文化の街づくり」(8/22)	事務局(熊倉)
講義	千葉大学	「文化をつくる」(9/30)	事務局(熊倉)
調査	宮城県	文化振興ビジョン策定に向けて(10/12)	事務局(熊倉)
講義	市町村職員研修所	「地域文化の創造」(10/28)	事務局(熊倉)
出演	文化経済学会	シンポジウム「地域文化振興とその担い手」(10/29)	事務局(熊倉)
調査	文化庁	アーティスト・イン・レジデンス事業調査	事務局(熊倉)
執筆	特別区職員研修所	研修のひろば誌「民間企業における文化支援策」	事務局(熊倉)
出演	(財)阪神・淡路 大震災記念協会	パネルディスカッション「新時代の博物館のあり方を探る」(2/22)	事務局(熊倉)
講演	佐賀県企業メセ ナ協議会	「最近のメセナ事情」(2/10)	事務局(角山)
執筆	文化庁	「文化庁月報」連載「これからのアートマネジメント」	事務局(熊倉)

II 処務の概要

1. 職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	主な担当業務	手当(月額)	備考
事務局長	角山紘一	1998. 2. 1	運営統括	—	会員企業より出向
事務局次長	林 牧人	1998. 11. 16	助成事業	—	会員企業より出向
部長	熊倉純子	1993. 4. 1	啓発・普及事業	345 千円	
課長	久保田大介	1992. 4. 1	顕彰事業	306	
	荒尾みどり	1999. 5. 1	顕彰事業	233	
	若林朋子	1999. 3. 1	調査研究事業	222	
	戸沢 愛	1999. 4. 1	助成事業	218	
	藤田美和子	1999. 9. 1	総務	212	

2. 役員会等に関する事項

2.1 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議結果
1999. 6. 18	1. 新会員承認の件 2. 理事選任の件 3. 1998年度事業並びに収支決算報告の件	可決 可決 可決
1999. 12. 20	1. 新会員承認の件	可決
2000. 3. 29	1. 新会員承認の件 2. 次期役員選任の件 3. 2000年度事業計画並びに収支予算案の件	可決 可決 可決

2.2 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議結果
1999. 6. 18	1. 理事選任の件 2. 1998年度事業並びに収支決算報告の件	可決 可決
2000. 3. 29	1. 次期役員選任の件 2. 2000年度事業計画並びに収支予算案の件	可決 可決

3. 許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

4. 契約に関する事項
該当なし

5. 寄付に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込み金額	領収金額	備 考
企業メセナ協議会助成 認定事業への寄付	752の団体 または個人	515,660千円	515,660千円	全額を認定した芸術活動 に対する助成金に活用

6. 主務官庁指示に関する事項
該当なし

7. その他の重要事項
該当なし